

28. 「子どもの遊び場」

2009年11月1日 社会福祉法人 江刺保育園

3歳を過ぎたくらいの子どもたちがさらに健全に成長するためには、大声を出し、思いっきり体を動かし、集団で自由に遊ぶ体験がとても大切だということは以前にもお話ししました。また、そのための子どもたち専用の遊び場の必要性もお話ししました。このことについて再度考えてみたいと思います。今から50年くらい前は地域の中にそのような場所はたくさんありました。田んぼやその周りの用水路、裏山、川原、空き地や使われていない家など遊ぶ場所に事欠くことは有りませんでした。そして、子どもたちが巷にあふれ、自然と地域ごとにグループができ、徒党を組んで対抗心を露わにして、ケンカすることもたびたびでした。毎日朝から晩まで外で遊んでいたことはその頃生まれた私たちには良い思い出です。毎日変化があり色々な体験ができました。その中で自分の力を試すことや、協力することを学びました。また、その中で培った幼い友情は、何にも代えがたい大切な心でした。



今の子どもたちに、私たちと同じような体験があるのでしょうか。自分自身を育ててくれたあのような場所はどこにも見当たらなくなってしまいました。私の通った幼稚園や小学校、中学校は、すべて小高い山の上でした。上の学校に進むとだんだんその高さが増していました。近くには想像力を駆り立てる森があり、いくら大声を出しても、思いっきり走り回っても誰の迷惑にもなりません。勿論、自動車は走っていないし、不審な人もいませんでした。残念なことです。今の子どもたちに、私たちと同じような体験を伝えることはできなくなりました。

今の時代、集団で子どもたちが自由に思い切り遊ぶことのできる場所は限られています。そしてそれは幼稚園や保育園にしかありません。子どもたちの創造力を育てるような森や小川が近くにある施設はとても少ないと思います。特に都会にある施設は、このような子どもたちの遊びの環境はないと思います。利便性と安全性が重視され子どもたちの学校も町の中心に移されています。社会は経済優先の車社会ですが、せめて子どもたちのいる施設周辺は車の無い、森や小川があり、子どもたちが自由に思い切り遊ぶことのできる環境が義務付けられるような社会になって欲しいと思います。

子どもは、安全であるとか、病気をしないとか、温室のような環境だけでは良く成長できないのです。勿論、親、保育者の働きは非常に大切なのですが、その他に真の逞しい自立心を育てるためには子ども自身が自分の能力を集団の遊びの中で十分に発揮できるような場所、環境が非常に大切なのです。

《洋風お好み焼き》10人分

材料

小麦粉 150g、キャベツ 100g、
コーン缶詰 30g、卵 1個、ピザ用
チーズ 30g、ハム 30g、ソース適
量

《作り方》

- ① キャベツとハムは千切りにする。
- ② ボウルに小麦粉、卵を入れ水で調節しながら生地を作る。
- ③ ②に①のキャベツ、ハム、そしてコーン缶詰、
ピザ用チーズを入れ混ぜフライパンで両面を焼く。
- ④ 焼けたらお好みの量でソースをぬる。

